

川西市北部地域のまちづくり方針に基づく整備基本構想(案)に係る タウンミーティングにおける意見と回答

令和7年1月に実施したタウンミーティングにおける意見とその回答について、
分類ごとに記載しています。

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
1	「全体」	機能の配置	市長は北部地域を発展させたいのか、川西能勢口駅周辺という中心市街地の住居エリアとして整備したいのか。	まち全体の中で言えば市立川西病院を移転しました。市全体を考えると病院は南部にあった方が救急などの効率が上がるため、南部から北部まで必要な機能をどのように配置していくのかということを考えています。市内全域の中で北部がどうあるべきなのか。どのようにすれば北部地域の皆さんが幸せになるのかということを考えていきます。	東谷公民館
2	「全体」	川西の魅力	人口減少が前提の計画になっているが、周りの外部環境の部分でいうと増えることはなくても減少を抑えられるような環境下にある。この計画を実際に市民や外部から移り住む人が見ると、今のこの案を見る限りだったら、川西市はやめようと思うのではないかな。	厳しい現実として、何もしなければ人口は減っていきます。できる限り減少のスピードを緩めていき、暮らしやすさを作っていきます。川西市は若い世代が一軒家を購入しやすく、自然が多い住環境が魅力です。この魅力をアピールしながら、市民を幸せにする具体的な戦略を実行していきたいと考えています。	東谷公民館
3	「エリア1」	①小規模保育 ②こども誰でも通園 ③一時預かり	3歳から5歳児向けの保育について川西市には受入れがあるかもしれないが、北部から通うのは非常に難しい。地域の声を聞くと三年保育がほしいが、それを言っても仕方ないという諦めの声が多い。幼稚園がなくなって、地域との繋がりもなくなっていく。地域が育てる子育てがどうなっていくのか不安。	幼稚園の存在意義が時代とともに変わり、公立幼稚園も私立幼稚園も子どもの数は減少し、保護者のニーズと合わなくなっていると感じています。令和元年からの幼児教育無償化により公立幼稚園の価格優位性も減少しました。公立幼稚園は地域が子育てに関わっていただく一つの要素ではありますが、公立幼稚園の有無に関わらず、地域力が重要であるという考えです。一方、「こども誰でも通園」というのは、地域の皆さんが署名活動をしていただいた成果として、追加した機能です。	東谷公民館
4	「エリア1」	①小規模保育 ②こども誰でも通園 ③一時預かり	東谷幼稚園を牧の台みどりこども園の東谷分園として三年保育にするべき。公立幼稚園は必要。請願が採決されたのに反映されていない。	東谷幼稚園の跡地利用として、1階は0、1、2歳児のための施設を予定しています。ここには小規模保育所や誰でも通園制度を導入し、待機児童が出やすい0、1、2歳のところを、市民のからのご意見や請願、議会のご意見も踏まえて反映させています。一時預かりが可能な事業者を選定する計画です。2階には学校以外の学びの場を必要とする小・中学生のための利用を考えています。	東谷公民館

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
5	「エリア1」	①小規模保育 ②こども誰でも通園 ③一時預かり	小規模保育は0歳から2歳児を対象としていますが、0歳から5歳までの就学前保育教育が必要。請願書には8,289名の住民の賛同があり、その意見を考慮して再検討をしてほしい。特に大和の牧の台みどりこども園では、一時預かりの人数が12月に17人の抽選になっており、2号認定の枠が不足している。笹部地区を含む住宅開発に伴い、子どもの数も増加するため、この点も考慮して再検討するべき。	請願の内容は、北部地域に公立幼稚園を残してほしいという意見だけではなく、様々な意見もありましたが、総じて北部地域の就学前施設強化を求める内容です。一方、市全体として3、4、5歳の就学前施設は十分に足りており、特に一時保育の必要性を訴える声もありますが、新2号の方が一時保育が利用できず仕事ができないという方は、保育所機能である2号認定で申し込んでいただくのが基本的な考え方です。就学前の施設をどうするのかという点は東谷地域に限らず、北部全体で考えていかないといけない課題だと認識しており、市全域で民間の事業者を募集した際、東谷周辺では応募がありませんでした。今は地域に点在する市有施設跡地等を有効活用し、北部全域での課題解決を図りたいと考えています。	東谷公民館
6	「エリア1」	①小規模保育 ②こども誰でも通園 ③一時預かり	こども誰でも通園や小規模保育には、資格を持った保育士だけでなく、高校生や子ども好きな中学生も参加できれば、社会的自立や地域貢献の安心感につながる。	1階部分は主に民間保育士が運営する予定ですが、将来幼稚園や保育園の先生をめざす高校生もいるため、運用方法についても供用開始までに検討していきます。	東谷公民館
7	「エリア1」	⑥セオリア	セオリアに関して、活動内容や指導者の人数、利用状況についてどのようなイメージを持っているのか。	セオリアについては、東谷幼稚園の2階部分を利用する予定です。セオリアは川西能勢口駅にしかないため、近くにもう1か所新しい場所を設けたいと考えています。 2階部分は小・中学生が分けて使用できるようにし、運用は大きく変えない予定です。指導員を適正に配置し、子どもたちが地域や人と繋がるための場所をめざしています。	川西市役所
8	「エリア1」	⑥セオリア	現在、学校に行けない子どもたちがプラザ・ひがしたにて毎週金曜日に勉強をしている。	中学生の学習支援については、厳しい家庭環境にある子どもたちへの対策を福祉施策として実施しています。家庭環境により支援が必要な子どもや学校に行けなくなった子ども、学習についていけない子どもなど様々な層に学習面で支援してくため、中学生向けに週1回、民間事業者が放課後に学習をサポートをしています。また、生活面も含めて不安がある家庭にも幅広く手厚くサポートし、東谷幼稚園を拠点に支援を広げていきたいと考えています。	川西市役所

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
9	「エリア1」	⑥セオリア	セオリアは自習室のように自分で学ぶだけでなく、社会的自立に向けた支援も行われるのか。高校生や大人も利用できるのか。第三の居場所として、学校や家庭以外に安心して過ごせるスペースがほしい。	2階部分は学校に行くのがなかなか難しいとか、教室に入るのに少しハードルが高いと思っているお子さんを対象にしたいと考えています。現在、そうした子どもたちは川西能勢口駅まで行かないとセオリアを利用できません。経済的負担や心理的ハードルが大きいため、北部地域の子どもたちが東谷で学べるようにすることが設置のコンセプトです。	東谷公民館
10	「エリア1」	⑥セオリア	北部セオリアの利用について、時間を区切って高校生も自習室として利用できるようにしてほしい。	公民館の運用方法を工夫すると自習スペースとして使えると思いますので、今後の使い方については検討します。	東谷公民館
11	「エリア1」	⑥セオリア	友達と宿題が出来るスペースを作してほしい。		東谷公民館
12	「エリア1」	⑦地域の活動スペース	コミュニティセンターがないので作してほしい。	コミュニティセンターは地区公民館がない地域に設置しています。現在、コミュニティ専用のスペースが不足していることは課題として認識していますが、多世代が活動できる場所として公民館が機能しているとの考えです。公民館の弾力的な利用方法については今後検討します。	東谷公民館
13	「エリア1」	⑦地域の活動スペース	現在、コミュニティで子ども食堂や中学校、ボランティアの協力を得てプラザ・ひがしたにでフリースクールを運営しています。当初は2階のみの利用だったが、現在は1階も使用しており、より広いスペースが必要。	現在セオリアは午後3時頃で終わりますので、ご意見の活動場所としてシェアできる可能性はあります。 機能ごとに新しく建物を作るのではなく、曜日や時間を分けて同じ建物をシェアするという考えもあります。この建物の件に関して多くのご意見があるということは感じましたので、今後検討していきます。	東谷公民館
14	「エリア1」	⑦地域の活動スペース	こども食堂の運営をボランティアが熱意を持って取り組んでいますが、場所の使用で幼稚園が使えなくなる可能性があり、現状維持が求められています。こども食堂の活動は全国的に注目されており、活動関係者のモチベーションを下げないように配慮が必要。	こども食堂は素晴らしい取組です。現在の東谷幼稚園での活動はあくまで暫定的なものであり、将来的にずっとその場所を利用できるわけではありません。私たちの大きな目標として、公共施設の床面積を40年間で約20%削減し、管理運営費も削減することがあります。そのため、こども食堂専用の施設を新設するのではなく、既存の施設を用途別に効率的に利用することで、地域の要望に可能な限り応えたいと考えています。	東谷公民館

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
15	「エリア1」	⑦地域の活動スペース	幼稚園を借りて充実したこども食堂が運営できており、大変助かっている。東谷の住民にとって幼稚園スペースは重要な場所ですが、民間が入ると住民は使えなくなり、一部の人だけが利用することになる。川西市の子どもたちのために必要な施設として、住民の集いの場所も構想案に含めるべき。	こども食堂に対する協力に感謝しています。これは東谷の大きな力だと感じています。但し、公立園を復活させると基本構想案がゼロベースに戻る可能性があるため、施設の利用方法を考慮する必要があります。施設は市の建物として使用し、特に2階のセオリアは市が直接運営する予定です。遊戯室の利用も含めて運用面については調整していきます。	東谷公民館
16	「エリア1」	⑦地域の活動スペース	資料にプラザ東谷と書かれているが、正式名称は「プラザ・ひがした」にである。名前の間違いは重大であり、誤りが判明したら訂正すべきである。市費ではなく県費で建てられているため、今回の整備基本構想案に入れてよいものかどうか。地元をしっかりと見るべきである。	ご意見のとおり修正します。	川西市役所
17	「エリア1」	駐車場	駐車場ではなく、収益が出るような施設を作って市の財源確保を考えるべきだ。	駐車場は一定区画必要だと考えています。令和8年度に「北部ワクワクこども支援棟」がオープンした際は北消防署が未解体のため、旧東谷村役場跡地をその駐車場として活用します。 令和8年度中にその駐車場の利用実態を見ながら必要な駐車スペースを確保し、空きスペースが生じた場合は、例えば屋外活動スペースなど具体的な活用を検討します。	東谷公民館
18	「エリア1」	駐車場	駐車場ではなく、人が集える多目的交流施設やこども食堂を配置してほしい。		東谷公民館
19	「エリア1」	駐車場	駐車場という意味合いも必要だと思いますが、そこを複合的な施設に使えるように、もっと考慮していただきたい。		東谷公民館
20	「エリア1」	駐車場	駐車場になるのではなく、例えば建物を配置して、区画ごとにフランチャイズオーナーや、起業を考えている方に貸し出して、その場所から起業家とかが生み出していけるような地区にしてはどうかと思う。インフラ整備はお金もかかるし、大変なことだと思うが、住んでいる人が楽しくワクワクするような暮らしというのは娯楽がないとできない。		東谷公民館
21	「エリア1」	駐車場	北消防署の跡地が駐車場になるということは非常に残念。この山下駅前に近いその北消防署跡地は中心地になりますので、できれば多世代の交流の場となるような、そういう集積施設をもう一度考えていただきたい。		東谷公民館

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
22	「エリア1」	位置づけ・コ ンセプト	「こども・若者ゾーン」とする位置づけには反対。こどもや若者に限らず、高齢者まで全ての住民の居場所を作る必要がある。このことは川西市都市計画マスタープランでも書かれている。	こども・若者に関するゾーンというのは、令和6年3月に策定した北部地域のまちづくり方針の段階で決定をしているので、そこを変更する考えはありません。	東谷公民館
23	「エリア1」	位置づけ・コ ンセプト	こども・若者ゾーンと書いてあるが、高校生から30代の問題を抱えている若者世代へのサポートや居場所作りは考えているのか。	高校生以上の機能については年齢幅を広げる方法を検討します。但し、限られた場所の中で年齢の混在が適切であるかを考慮する必要があります。	東谷公民館
24	「エリア1」	機能の提案	高校生や大学生のワードがあまり入っていないのが気になる。フリースペースや駐車場の一面に高校生や大学生が利用できる学習や遊びのスペースがあればいいと思う。例えばボルダリングやスケートボード、トラランポリンなど、体力を発散できる施設がいい。図書館の設置も考慮してほしい。	高校生の学習スペースの問題について、アステ川西やキセラ川西プラザなどの施設は夜まで開いているため自習に利用されているが、公民館などの北部地域の公共施設は17時までしか利用できません。新しい施設の建設にこだわらず、現在の施設の活用方法も含めて検討します。	東谷公民館
25	「エリア1」	機能の提案	多くの人が集まる場所にするためには、必要な人だけが行くスペースではなく、魅力的でみんなが行きたくなる場所にすることが重要。例えば、ボルダリングスペースを設置することで、子どもから大人まで楽しむことができる。面白さや魅力があれば人々を惹きつけることができる。便利だけでなく、感動や興味を引く工夫が必要。	子どもの屋外プレイスペースは誰でも来てもらえる楽しい場所になればと思います。例えば、アステ川西に設置されたふわふわドームは、子どもが集まり楽しむ場となり、おじいちゃんやおばあちゃんが見守っている光景が見られます。このような楽しい場所があれば、人は自然と訪れ、困ったことがあれば相談したり、一時預かりを利用したり、友達ができたりといったきっかけが生まれます。ご意見を参考にし、限られたスペースでも可能な限り魅力的な仕組みをめざします。	東谷公民館
26	「エリア1」	機能の提案	この地域は子どもの教育に熱心で、その歴史と精神をもとに、川西地域全体にわくわく感を出してほしい。ボルダリング施設の導入や、子供たちが高い目標を追求できる図書館や自習室など、子どもだけでなく生涯教育としても活用でき、地域全体が利用できる施設が必要。広い視野で多くの人が利用できるワクワクする施設を考えるべき。	こども図書館などもっとエッジを効かせたワクワクする施設にしたいと考えていますが、就学前施設など他の重要な機能を配置する余地がなくなります。セオリアは何としてでも配置したいと考えていますし、東谷幼稚園の活用については、地域の皆さんが求めるものとワクワク感との妥協案が今の構想案になっているという認識です。公民館の使い方に関しても前向きでワクワク感がほしいという声を頂戴していますので、工夫しながら弾力的な運用を検討します。	東谷公民館

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
27	「エリア1」	病児保育	東谷地域の子どもに関する問題として、病児保育が不足している点が挙げられる。以前は病児保育の民間の参加が少ないことが理由とされていたが、北部で仕事をする女性が子どもの病気で帰らなければならない問題も存在する。これについて市長の意見を伺いたい。	病児・病後児保育の受け入れについて、市の補助金により事業運営している民間保育園併設の「おひさまルーム」では、1日あたり定員3名まで受け入れています。そのほか、医療関係法人が運営する企業主導型保育施設2施設においても独自で病児保育事業を実施しており、それぞれ1日あたり定員2名まで受け入れています。市全体では必要な供給体制が確保できていることから、現時点で増設の予定はありませんが、北部地域における病児保育の要望については把握しており、今後の検討課題とさせていただきます。	川西市役所
28	「エリア1」	病児保育	病児保育なども赤字が出ていても必要であれば資金を投入するのが基本である。市長が雇用増加をめざしているならば、もっと積極的に取り組むべきである。また、保護者が行事やこどもの病気で仕事を休んでいるデータを得ていないと思う。病児保育が1人か2人しか利用されていないくとも、多くの地域住民が病児保育を希望している。		川西市役所
29	「エリア1」	病児保育	急にこどもの罹患率が増加することがある。長期間の病児保育ではなく、一時的な利用になるため、前向きに検討してほしい。		川西市役所
30	「エリア1」	病児保育	派遣もあるが家に来てほしくないという意見もあるし、特に北部は遠いため病院などで人が集まりにくい問題がある。話はそれるが、猪名川モノタロウの送迎バスは多くの人を乗せ、地域の雇用も促進している。市長が子どもたちのために雇用の場所を提供することが重要であると感じる。		川西市役所
31	「エリア1」	小児科	リハビリテーション病院の小児科と連携はできないか。市長は以前、小児科がリハビリテーション病院に設置されたのはその地域のニーズに応えるためであると回答している。地域の要望があれば、さらに連携を検討する余地があると考える。	地域のニーズではなくご要望だったと記憶しています。小児科の利用者数は1日一桁であり、数的ニーズは少ないと認識しています。しかし、安心のために必要だと地域からの強いご要望があり、市が赤字補填をしてでも小児科の提供を続けることとしました。	川西市役所

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
32	「エリア1」	整備スケジュール	令和7年4月からの設計開始について、令和10年の竣工と開業に至る合理的なスケジュールの理由を伺いたい。最低限の機能は配置されているが、全国各地の先進的な取り組みを参考にし、開発コンペ等を通じて多くのアイデアを集めることを提案する。	お示ししているのは最短スケジュールであり、最終期限が決まっているわけではありません。特に急いでいるのは、多田出張所と北消防署の統合です。これらの施設は老朽化が進んでおり、耐震性には問題はありませんが、危機管理施設としては不十分なため、令和9年3月スタートを目標に統合を進めています。地域からもう少し時間をかけるべきとの意見もありますし、ゴールが決まっているわけではないため、柔軟に対応していきます。	川西市役所
33	「エリア1」	商業誘致	川西市北部はベッドタウンとして発展してきたが、多くの課題に直面している。特に若者にとって娯楽が少ないことが問題であり、これが原因で地域を選ばなくなる可能性があると思う。川西市を魅力的にするためには、娯楽施設や手頃な飲食店、安価な衣料店などを提供し、大阪周辺に流れている娯楽事業を地域に引き込むことが必要。	東谷の地域ではありませんが、旧文化会館跡地を30年の期間で借りる事業者を募集しており、中高生も楽しめる店舗の提案を要望しています。	東谷公民館
34	「エリア1」	人口減少	人口減少への対応について、現状の対策だけのように見える。若い世代が魅力を感じ、住みやすく子育てしやすいと思えるような長期的なビジョンを持つべき。	子育て世帯の支援を継続して強化する方針です。また、人口減少を食い止める対策と同時に、減少しても幸せに暮らせる社会の構築も重要だと考えています。この両面から取り組むことが必要で、行政として責任ある対応が必要だと思います。	東谷公民館
35	「エリア2」	福祉複合施設	市民病院跡地はどのような提案で事業者を選定し、なぜ白紙になったのか。また、資料はどこに掲載されているのか。	北部診療所を設立し、福祉施設を誘致する計画でしたが、猪名川町の今井病院からの参加申出により川西リハビリテーション病院に来ていただきました。小児科や応急診療も提供しています。隣接する建物には介護施設を誘致中であり、24時間対応の訪問介護や障がい者のリハビリも求めています。特に養護学校から卒業された方の行き場所というのが尼崎市、大阪市内になるので、その点に対する協力も含め公募しました。結果、川西リハビリテーション病院が運営に名乗りを上げたのですが、物価高騰で計画が白紙になり、現在再公募中です。スケジュールには大きな影響はありません。現在、建物の解体を進めており、新施設は令和8年度末から令和9年4月に建設される予定です。 駐車場跡地にはインクルーシブな遊具を備えた公園を計画中です。障がい者も利用できる遊具を配置し、病院や福祉施設と共に幅広い人々が利用できる地域の福祉の核として整備する予定です。	川西市役所

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
36	「エリア2」	公園のルールづくり	病院の跡地に公園ができると聞きましたが、その公園はボールを使えるようにしてほしい。		東谷公民館
37	「エリア2」	公園のルールづくり	旧川西市民病院の跡地に約2,000㎡の公園を計画しているが、北部まちづくりワークショップではもっと大きい公園が欲しいという意見があったが、狭いと感じる。カフェやドッグランを望む声もあり、災害時に避難所として犬が利用できるドッグランが近くにあればという意見や、ママ友が集まる場所がないという指摘もあった。キセラセせらぎ公園は規模を大きくして、段階ごとにワークショップがあった。今回もそのようなことがあるのか。	旧市立川西病院跡地の公園整備については、障がいのある子どもも利用できるようブランコや滑り台等の遊具に配慮を加えたいと考えています。今後、ボール遊びも含めどのような公園にしていくかという点は、地域の方々と協力してルール作りを進めていきます。	東谷公民館
38	「エリア3」	①福祉総合相談	北部全体の福祉の総合相談窓口の設置をお願いしたい。	福祉総合相談については、社会福祉協議会等の職員配置を検討しています。 なお、具体的な配置方法等については、今後関係団体と協議を進めます。	緑台公民館
39	「エリア3」	③自治会館（集約検討）	地域の行事やサークルなど、地域活動が多岐に渡るため、自治会館の機能を1階に持ってきてほしい。	1階に持ってくるのは可能かと思いますが、詳細は今後の協議で検討します。	緑台公民館
40	「エリア3」	③自治会館（集約検討）	自治会館の集約で、面積はどれくらい減るのか。今使ってる人はどうなるのか。新しい会館への移動手段はどうなるのか。	「緑台・陽明コミュニティ協議会」「このまちを考える会」からも自治会館や公民館等を集約し、賑わいの場を創出したい旨の要望を受けたことにより、今回の検討を始めました。 人口が減少する中で公共施設の質向上を図るためには、機能集約を図ることが前提となりますが、自治会館の統合については費用も含め自治会の方々と協議の上検討を進めていきます。 なお、第1自治会館は建物と土地ともに市の所有ですが、増築部分は地域所有、第2自治会館は建物も土地も市所有です。 跡地は売却や貸付など様々な選択肢が考えられ、行政利用を想定していないという意味で、民間活用と記載しています。	緑台公民館
41	「エリア3」	③自治会館（集約検討）	自治会館の使用について。開閉などの時間の制約は、どのように決定していくのか。		緑台公民館
42	「エリア3」	③自治会館（集約検討）	自治会館の所有者は誰か。集約に伴う自治会の費用負担はあるか。自治会館の運営について、民間活用の記載があったが、そのあたりはどう考えておられるか。		緑台公民館
43	「エリア3」	⑦多目的ホール・⑥障がい者活動拠点	200人規模の多目的ホールができるとあるが、1人あたり3㎡という理解でいいか。 また、北部いきいきB棟1階の障がい者福祉拠点というの、具体的に何を指しているのか。	約200人という、300㎡が上限と考えています。 障がい者福祉拠点については、障がいのある方がそこで働いたりする社会参加、地域交流の場を整備できるよう考えています。	緑台公民館

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
44	「エリア3」	⑧フリースペース	買い物や散歩をしたときに使えるような、高齢者の休憩スペースがほしい。	飲食をしながら談話などができるフリースペースを設置する予定ですが、具体的な用途・仕様については今後検討します。	緑台公民館
45	「エリア3」	緑台老人福祉センター	緑台老人福祉センターがこの3月で閉鎖になるが、今の進捗は。	緑台老人福祉センターは、現時点では令和7年度に限り、暫定利用を予定しています。 なお、個別に代替場所を確保することは考えていませんが、既存の緑台公民館など市で把握可能なスペースの情報を随時提供します。	緑台公民館
46	「エリア3」	緑台老人福祉センター	緑台老人福祉センターをよく利用しているが、3月で閉鎖と聞いている。工事期間中はどうすればいいのか。		緑台公民館
47	「エリア3」	緑台老人福祉センター	緑台老人福祉センター自体が使えなくなるのか。代替の場もないのか。		緑台公民館
48	「エリア3」	公共交通	自治会館の集約で、今まで歩いて行っていたのが、公共交通機関を使わないといけなくなり、不便である。	地域ごとに異なる移動の課題については、公共交通の維持・活性化や地域ごとに必要となる移動手段の確保に向けて、地域の取り組みを支援していきます。 なお、福祉の観点から、移動を支援する事業等ができないか研究しています。	緑台公民館
49	「エリア3」	公共交通	阪急バスなどは30分に1本しか来ない。人口減になるともっと減便される。何とかならないか。		緑台公民館
50	「エリア3」	公共交通	緑台・向陽台の子どもたちが東谷の施設を利用するとしても、子どもたちが離れた地域へ足を伸ばすことはできないのではないか。		緑台公民館
51	「エリア3」	旧松風幼稚園	松風幼稚園はどこか。その場所での高齢者支援とは。	平成30年度末で閉園しました。跡地については、入所定員が29人以下の小規模特別養護老人ホームを検討しています。	緑台公民館
52	「エリア3」	旧松風幼稚園	松風幼稚園への通園はこれまで徒歩や自転車であったが、規模特別養護老人ホームになると車の出入りがあることが懸念される。地域の住民がどう思うか、静かな環境がどう変わるかについて心配しており、住民への説明がきちんと行えるかを確認したいという要望がある。		緑台公民館
53	「エリア3」	機能の提案	地域に本屋がない。しかしこのエリアは勉強熱心な方や好奇心の強い方が多い。できれば図書館や自習室などを整備してほしい。また、雨の日に子どもが遊べる施設がほしい。	自習室等は必要と考えており、公民館機能も合わせて、今後検討していきます。子どもが遊ぶスペースについては、東谷幼稚園の園庭を活用してプレイスペースを設置する予定です。	緑台公民館
54	「エリア3」	機能の提案	子どもがリーダー隊に入っている。その拠点で使った場所がなくなってきたので、もう一度見直してほしい。また、ドッグランや、ペット連れでも利用できたり、寝泊まりや子どもたちが勉強もできるような施設をつくってほしい。	東谷＝子ども、緑台＝高齢者ではなく、北部地域全体の福祉・生涯学習の拠点として、幅広い活用を考えています。	緑台公民館

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
55	「エリア3」	位置づけ・コ ンセプト	生涯学習・福祉ゾーンに関して、相談機能や支援機能が配置されいますが、生涯学習の面が弱いと感じる。例えば、社会教育主事の配置を含めて、生涯学習・社会教育を充実させる体制を整える必要がある。	社会教育主事の配置など具体的な詳細は今後検討していきますが、川西能勢口駅周辺まで行かないと大きなイベントが開催できないため、グリーンハイツの拠点でイベントを開催できるようにしたいと考えています。ソフト面については、これから検討していきます。	東谷公民館
56	「エリア3」	整備スケ ジュール	スケジュールは多少ずれても問題はないということか。	多少の遅れは影響はありませんが、多田出張所や緑台公民館は老朽化が進んでいるため、できるだけ早く対応したいと考えています。	川西市役所
57	「エリア3」	駐車場	第2自治会館解体後の駐車場は何台ぐらいを想定されるのか。200人規模のホールに耐えうるものなのか。また、緑台高校が去年オープンスクールをしたときに、西友周辺が混雑した。車の出入りが増えると、地域住民がどう思われるか少し懸念している。	駐車場の台数など詳細については、設計段階で決定していきます。	緑台公民館
58	「エリア3」	障がい者へ の配慮	障がい者として意見を申し上げる。福祉活動拠点が設けられることは嬉しいことであるが、キセラ川西プラザでは視覚障がい者に対する配慮が不足している。具体的には、黒いテロップが見にくい問題や、要約筆記の場所で照明を暗くしなければならない場合に、電気をすべて消す必要があるなどの問題がある。こういった意見を集めて、改善策を取り入れた環境づくりをお願いしたい。	ご意見のとおりだと感じました。キセラ川西プラザを建設する際に色々な配慮をしたつもりでしたが、細かい部分で不十分であったと認識しています。既に作られたものをすぐに切り替えることができるかどうかは難しい面もありますが、新しいものを作る際には、事前にご意見を頂戴し、対応したいと考えています。 また、手話通訳者や要約筆記者に来ていただくというのが行政の標準的な取組になってきていますので、配慮できるように考えていきます。	川西市役所
59	「エリア1」 「エリア3」	整備スケ ジュール	スケジュールについてお伺いしたい。例えば、エリア1やエリア3で民間の誘致を考えているという話であるが、生涯学習や公民館の利用も考慮し、未来の50年後を見据えて計画するべきである。但し、支援学校に通う方々の行き場がないという現状は喫緊の課題である。もし、民間事業者との誘致が市と合意に至った場合、令和10年度までにスタートすることは可能であるか。	東谷地域で1階部分の小規模保育とこども誰でも通園、一時預かりは民間事業者の誘致を考えています。2階部分はセオリアという学校以外の学びの場を必要とする北部地域の小・中学生のための北部拠点をつくりたいと考えています。 福祉施設に関しては、緑台老人福祉センター1階部分は令和7年度の公募を予定しています。また、旧松風幼稚園については、令和8年度に公募し、令和10年度運営開始で考えていますが、リノベーションの内容次第では工期が伸びることもあります。	川西市役所

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
60	「エリア1」 「エリア3」	位置づけ・コ ンセプト	東谷＝こども、緑台＝老人というイメージがある。 それを払拭してもらえないか	東谷＝子ども、緑台＝高齢者ではなく、北部地域全体の福祉・生涯学習の拠点として、幅広い活用を考えています。また、約200人の多目的ホールやフリースペースについては、様々な用途を想定しています。	緑台公民館
61	「エリア1」 「エリア3」	位置づけ・コ ンセプト	この構想案を見ていると、どうしても東谷は子育て、 緑台は年寄りに見える。なにか子育ての要素も入れて ほしい。		緑台公民館
62	「エリア4」	消防署の統 合	2か所の消防署が統合されたことによる通報をしてから 消防車・救急車が現場に到着するまでの時間は今 まで以上でないとならない。	現状の配置による距離差はあるが、他の拠点からの駆けつけ で対応時間を平均的に抑えることが基本方針です。西畦野に部 隊を二つ置くことで出動時間が延びないように計算しています。ま た、消防署を一つに集約することで建築費や運営費が削減でき ます。	東谷公民館
63	「その他」	一の鳥居老 人福祉セン ター	緑台の多田出張所跡の整備に関して、緑台老人福 祉センターをリノベーションする予定である。一方で、 公共施設等管理計画に基づき老人福祉センターの機 能を機能廃止する方針があり、一の鳥居老人福祉セ ンターも閉所予定である。このため、一の鳥居の機能が 緑台に統合されると考えてよいのか教えてほしい。	川西市に老人福祉センターは久代老人福祉センターと一の鳥 居老人福祉センターと緑台老人福祉センターの3か所ありま すが、老人福祉センター機能は廃止します。 一の鳥居老人福祉センターは、本館と別館がありますが、地元 自治会が別館は管理し、本館は売却を含めて活用を検討しま す。	川西市役所
64	「その他」	一の鳥居老 人福祉セン ター	一の鳥居老人福祉センターはそのまま残すのです か。昨日、40年で約20%ぐらい公共施設の床面積を減 らすという話が出ましたが、同じような機能を割と 近い北部で残すというのは結構市の経費の負担もある のかなと考えて、その一の鳥居老人福祉センターの 跡地をどういうふうに考えているのか教えてください。		川西市役所
65	「その他」	雇用	物流センターができた場合、どれぐらいの雇用が生 まれて、どういう波及効果を生むのか。猪名川で大き な物流ができたが、実際どのような効果が出ているの か。	雇用については、まだ入居テナントが分からないため、具体的 なことは分かりかねますが、固定資産税は大幅に増えると見込 んでいます。税収が増えるのは市にとって非常に大きな効果で す。また、能勢電を利用して市内の方が働いてくれることも期待 しています。働く場所が北にあるというのは、公共機関にとっても 良い効果を生むと考えています。	緑台公民館

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
66	「その他」	雇用	お金の使い方ではなく、どう入ってくるかを考える必要がある。市だけでなく、県や国と協力し、どのように企業や資金を引き寄せるかを具体的に考える必要がある。舎羅林山の物流センターに勤務する従業員が川西市での居住や消費に関する統計データは出ているのか。	私が市長になる前、舎羅林山は住宅地として計画されていましたが、工業用途に切り替え、物流センターとして開発を進めました。このことにより固定資産税の増収が期待できます。また、また石道は市街化調整区域ですが、一定のルールに基づいた開発は許可し、付加価値の高い建物を認可することで固定資産税の増収を図っています。企業誘致だけでなく、今空いている土地に対して付加価値をつけていくことが我々の大きな役割の一つだと考えています。 舎羅林山の物流センターは現在建設中で稼働していないため、従業員の居住地に関する分析はできていませんが、従業員の規模や住む場所は、入居するテナントの種類や形態によって異なります。	東谷公民館
67	「その他」	障がい者への配慮	私の子どもが支援学校に通っている。卒業後の進路について悩んでいたが、資料を確認していたら卒業された方の行き場も考えている。障がいや聞こえない人たちが分けられることなく、誰もが生きやすい環境を提供する施設があれば嬉しいと思う。	市民病院跡地に整備する公園が新しいチャレンジです。全ての公園を一度に変えることが望ましいですが、現実的には難しく、まずできる場所から始め、成功事例をもとに他の地域にも広げていくことをめざしています。	川西市役所
68	「その他」	障がい者への配慮	特別養護老人ホームのふくろうの郷が淡路市にあるが、遠いため、阪神地区の尼崎や伊丹、川西などの近くに、聞こえない人に特化した福祉施設を要望する。	介護施設やグループホームなどは「見える」「聞こえる」を前提として運営されていると思います。音が聞こえない方や視覚障がいを持つ方などが高齢者になったときに、どのように暮らしをサポートするかを考える必要があると感じています。 具体的な計画はまだ持ち合わせていませんが、専門性の高い支援を一定の地域ごとに整備しながら、既存の特別養護老人ホームでもさまざまな状態の方に対して適切な支援が提供できるよう人的支援を強化することをめざしています。頂戴したご意見はとても貴重で、今後の福祉政策の参考とさせていただきます。	川西市役所
69	「その他」	部活動の地域移行化	中学校の部活の地域委託について、教員の負担軽減だけなのか、それとも中学生が地域の人々や高校生と繋がりを持つ場としての機能も考えているのか、どのレベルまで考えているのか。	中学校の部活は、文部科学省の負担軽減提案に加え、地域の協力を得て子どもたちの活動環境を維持することが大切です。子どもの数が減少し、部活のチーム編成が困難になっているため、他の中学校と連携することや地域の指導者を招くことで部活動を継続できます。また、新しい選択肢として今までなかった部活動を導入することが改革のポイントです。地域全体で部活動を支えることをめざしています。	東谷公民館

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
70	「その他」	部活動の地域移行化	中学の部活動についても言及があったが、今の社会でクラブチームに入る子もいるが、入らない子も多くいる。中身をしっかりと説明してほしい。	学校以外でも繋がりを持てる選択肢を増やし、子どもたちのためにできるだけ早く実現したいと考えています。	東谷公民館
71	「その他」	高齢化	高齢化と言われるが、平成2年では高齢化率(65歳以上の割合)42.5%、令和6年では40.5%で、34年で2%減っている。今後、若い世代にもグリーンハイツを選んでもらいたいので、そのようなまちづくりをお願いしたい。	東谷とグリーンハイツで争わず、一緒に価値を高めていけたらと考えています。グリーンハイツには、比較的時間取りが広い庭付きの一軒家や、鶯の声も聞こえるなど魅力的な物件が多いです。そこがこの地域の特色でもありますので、そのようなPRも含めた施策や川西市を選んでいただけるような施策を今後打ち出していきます。	緑台公民館
72	「その他」	川西の魅力	川西市の魅力度ランキングは常に低く、近隣の西宮市、宝塚市、箕面市のように上位には入っていない。しかし、川西市は以前は日本のトップランクに位置していた時期もあり、川西方式など全国の地方自治体から参考にされる事例もある。今回の基本構想案は地域の平均点をめざしたものであるが、市長には全国的に見本となるような高い目標を持ってほしいという思いがある。市が高い目標を持ち、全国に誇れる施設をめざしてほしい。	まちに一つしかないもの、例えば市民病院や大きい公園、大ホールは誰もが使用できる市中心部に配置しています。但し、地域を補完する機能は必ず必要だという私のビジョンがあります。グリーンハイツ、北部地域を見たときに、子どもという政策も重要ですが、高齢者の方たちが、生涯学習や社会教育、文化活動ができるよう新たな活動場所をつくっていくことにより子どもがワクワク元気に、皆がいきいき活躍する社会になると考えています。南部が中心だったとしたら、北部にもしっかりとランチを作っていくことで、地域の生活の質を高めていく取組を北部地域の中で実践していきたいと考えています。	川西市役所

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
73	「その他」	先進事例	全国の優れた施設を参考にし、市職員が研究して作成した目標を市民と共有することが重要である。しかし、現行の計画は平均的すぎて斬新さに欠けるため、再考が必要という懸念がある。特に、グリーンハイツの中心部の再開発は50年に一度の機会であり、未来を見据えた長期的な視点を持つべきである。具体的には、西友がある中核エリアに配置すべき施設と、学校と併設させるべき施設を考慮し、グリーンハイツ全体の最適配置を検討する必要がある。これにより、人口減少に対応できる持続性のある施設をめざすべき。	全国には様々な民間連携の取組があり、本市ではキセラ川西の開発が成功事例だと認識しています。現在参考にしている取組事例はありませんが、ご意見を参考に最適な方向性を模索していきます。 公民館と自治会館を西友前に集約し、まちの中心核とするのが基本的なコンセプトです。学校の統廃合については現段階では具体的な計画はありませんが、それぞれ単学級になったら話し合いをしていきたいと考えています。様々な公共施設や自治会館を一つに集約ことによって、そこをグリーンハイツの拠点とするビジョンです。北部地域の方々や清和台からもアクセスしやすいグリーンハイツ今までとは違う新たな価値が生み出していきたいと考えています。	川西市役所
74	「その他」	民間活力	私は民間企業で競争を経験してきたため、商品力を高めることに注力してきた。この視点をグリーンハイツに適用し、北摂エリアで高齢者が住むならグリーンハイツが最良だと言われるような価値を高めたいと考えている。民間出身の私はこのような発想を持ちがちであるが、現実的な目標として掲げること、今後10年、20年、30年と持続可能性のある価値を保てると考えている。		川西市役所
75	「その他」	若者意見の 反映	市民への情報公開や意見収集の方法が旧態依然としており、改善が必要。例えば近隣の池田市はエリアプラットホームを通じて市民を巻き込んだ再開発のタウンミーティングを開催したり、多くの市民に周知するためにカジュアルな雰囲気のリフレットを作成している。市民に情報を伝える努力をしており、これらを参考にすべきである。 市役所はパブリックコメントやタウンミーティングを通じて市民の意見を吸い上げていると認識しているが、実際には若者の意見が反映されていない。中高年だけで計画を進めることの危険性があり、若者の意見を吸い上げる努力が不可欠である。若手の意見をもっと巻き込み、今後の計画作りに反映する努力が重要である。	障がい者団体やコミュニティのご意見は一つの重要なご意見ではありますが、全ての意見を代表するわけではありません。市民参画を促進するために無作為抽出で住民を集めたタウンミーティングを行うなど、色々な工夫を行う必要があると考えています。昨日のタウンミーティングでは、高校生の参加もあり、若者の意見を聞くことができました。高齢者の方も若い人たちも当事者として参加をしていただく仕組みを作っていきたいと考えています。令和7年度に「こども・若者参加条例」を策定し、タウンミーティングに高校生を招待するためのチラシを学校で配布したり、ミマモルメやSNSを活用するなどして、若者の参加を促すための工夫をしていきます。	川西市役所

意見 番号	意見の 分類1	意見の 分類2	意見の趣旨	回答	会場
76	「その他」	広報のあり方	この会について多くの市民が知らなかったため、参加できない人がたくさんいた。市民の意見を集めるためには、もっと早くから自治会の回覧板や学校での配布など、SNS以外の方法で情報を広める必要がある。	タウンミーティングの周知には課題を感じています。今後は今よりも幅広く周知ができるよう方法を検討していきます。	東谷公民館
77	「その他」	その他	現在の資料は具体的な策定計画がなく、意見を述べる材料が不足している。 また、市総合計画や市都市計画マスタープランの全体像を捉えておらず、一部地域の情報だけでは全体の理解が進まない。北部の繋がりを含む俯瞰的な説明が必要である。 プロセスシートに作業部会と検討部会について記載があるが、どの部局が関わっているのか不明であり、どのような内容を検討しているかを市民意見として提出したので、回答を求める。パブリックコメントの意見は確認しているのか。 現在、行政内部では即座に対応が求められる状況にあるが、まだ実感が沸いていないと感じる。主にハード面の統廃合を中心に進められているが、施設は整理されるものの、中身(内部のソフト面)が整備されていないため、具体的な内容が不足している。 市長と職員が一丸となって作っていく必要がある。昨日から多くの意見が出ていることを踏まえ、本日の議論を待ち受けている状況である。	昨日の東谷地域のタウンミーティングでは、反対意見のほか、希望的な意見やわくわくする新しい提案など、多岐にわたる意見が出ました。特に、就学前の施設についての提案が多く、東谷幼稚園跡地に限定せず、幅広い意見がありました。 タウンミーティングには私が出席し、担当部長や副部長から詳細の説明も行います。私が不在の場合でも職員が現場で説明しながら意見聴取する仕組みは継続しており、今後もしっかり進めていくつもりです。	川西市役所